

松浦のり子

ひかり — 祝^{いのり} —

陽^ひにうたう

ましろの新雪

朝露に躍る

みどりの新芽

朽ち葉にふれる

きんの風

だれか呼ぶ

あおく

遠く

清^すんだ空

切り取られることのない

透明の

永^{とわ}遠^をを

映して

ひかり

あまねし